別紙４

令和３年度２回島根県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校部会開催概要

１　開催日時　　令和４年２月１４日（月）　　１３時１５分～１５時００分

２　開催場所　　島根職業能力開発短期大学校会議室

３　主な議題
・令和３年度事業実施結果について
・令和４年度事業実施計画について
・意見交換（応募者拡大の取り組みについて）　ほか

４　議事経過
　資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

・入校者の出身状況について、島根県西部地域では、益田市、浜田市からの入校者が多いので、地元（江津市）からの入校者が多くなるように広報に努めていただきたい。

・建設業の企業で、夜間に資材を現場に搬入するロボットの導入を検討している企業がある。今後、建設業界においても生産技術科や電子情報技術科に関わる知識や技能が必要となってくる。

・応募者拡大という観点からいうと、新しい産業や仕事に対応したカリキュラムを授業に取り入れることも必要ではないか。日本では「ロボット制御のプログラマー」や「ＳＡＰエンジニア」の人材が不足している。最先端の技術が学べる環境を整えれば応募者拡大につながる。

・昨年、オープンキャンパスに参加して学校見学を行ったが、担当の先生による熱心な説明に感銘を受けた。電子情報技術科では、プログラムを組んでロボットが動くという体験授業をしていたが、その場に学生も指導者として参加させれば、

先輩との交流の場ができて良いのではないか。

・専門学校では、オンラインで学校説明会を行っているところがある。実際に学校を見学するよりも情報量は少なくなるかもしれないが、オンラインでオープンキャンパスを行えば、遠方に住んでいる方も参加しやすくなる。

・短大校の女子学生と建設業種の女子社員との交流会について、テレビのニュース番組で見た。女子会の活動を新聞やテレビを活用して情報発信することは学校のＰＲにおいて有効であると考える。

令和３年度第２回島根県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校部会委員名簿

和木田　登	（座長）	江津商工会議所　専務理事
田中　利徳		江津市教育委員会　教育長
土岡　　勉		連合島根西部地域協議会　事務局長
今井　久師		今井産業株式会社代表取締役 （江津市建設業協会会長）
景山　昭治		浜田公共職業安定所　所長
藤原　繁智		島根県西部県民センター商工観光部　部長
三木　和彦		江津市経済部門　参事